

●議員改革特別委員会研修 沖山 昇
令和7年8月8日 13時30分～15時30分

目的 議会改革と主権者教育 研修

演題 『議会改革の最新トレンドと主権者教育
－議会と住民の関係をより深くしていくために－』

講師 (株)自治日報社 記者 NPO法人DAKKO 事務局長
総務省 主権者教育アドバイザー
高橋 一之 氏

成果

1. 議会改革の最新トレンド (－先進事例から見えてきたこと－)

◇近年の議会改革

☆広聴活動 (住民の声を聴く)

- ・北海道登別市議会は、常任委員会に市民3名の「議会サポーター」を配置。
- ・島根県浜田市議会では、市民が本会議場で、市政への意見・提案・要望などを行う「はまだ市民一日議会」(フリースピーチ)を開催。

☆議会のデジタル化、オンライン出席

☆災害時の対応 (議会BCPなど)

- ・災害時においても、二元代表制を維持することが重要。
石川県加賀市議会では、議会BCP(業務継続計画)の策定と防災訓練を実施。
- ・議会(議員)でも被災情報をまとめ、執行部(行政)へ共有し、住民に対して「最新かつ的確な」情報を発信。

☆ハラスメント防止条例

☆一般質問の充実化

☆生成AIの活用

☆主権者教育の推進

- ・国民が国や社会の問題を自分事として捉え、自ら考え、判断し、行動していく「主権者」を育成するための教育。
- ・神奈川県寒川町議会は、全国で初めて議会基本条例に「主権者教育の推進」を明記。
- ・山梨県甲府市議会は、小学生、中学生向けに「キャリア教育」と称して出前事業を実施。
- ・東京都新島村議会は、小学生向けの出前授業とともに、議場での体験会も行っている。

☆職員のなり手不足、多様な人材の参画

- ・全国的に議員のなり手不足が問題化しており、御蔵島村議会は今年5月に議員報酬を引き上げた。
- ・北海道八雲町議会は、住民向けの「議員のなり手養成講座」を開講。現役議員が講師となり選挙に立候補するためのノウハウなどを説明する取り組みが行われた。
- ・鹿児島県知名町議会は、町内の女性団体とワークショップを行ったり、「模擬議会」を開催。
- ・愛知県知立市議会は、住民参加の「議員研修会」を開催。
- ・神奈川県開成町議会は、ハラスメント対策として「(主にベテラン)職員⇒議員」も対象に加え、議員のなり手不足対策の一環となっている。
- ・2006年、北海道栗山町で全国初めての議会基本条例が制定。

議会や議員のあるべき姿、「開かれた議会」を実現するための決意。

議会基本条例の制定は、目的ではなく手段で、住民に理解してもらえるよう「これからどんな議会を目指したいのか」を明文化しておく必要がある。

◇継続的な取り組み

☆議会広報の充実

☆議員報酬、議員定数、政務活動費のあり方検討

☆議会改革アドバイザーの導入、外部団体との連携

☆議会改革実行計画

全国の議会において、このような取り組みが行われており、議会と住民の関係において、議会改革にて「議会の見える化」、住民が議会を理解するための場づくりとして「議会を分かる化」を進めることが重要である話を伺った。また後半では、「まちづくりカードゲーム」を使用し、新しい形の「住民と議員の懇談会」を体験。そのカードでは実際に八丈町議会で行われた質問等を盛り込んだ内容で行なわれた。